

## 6 図書館の沿革

昭和 24 年	4 月	・相模原町立公共図書館として開館（上溝 4,700 番地、神奈川県軍政部の援助、カマボコ型図書館）
	11 月	・神奈川県軍政部解散後、GHQ・CIF 横浜図書館の管轄となる
昭和 26 年	4 月	・館外貸出を開始（1 人 2 冊まで、1 週間以内）
昭和 27 年	4 月	・講和条約発効に伴い、アメリカ文化センター横浜図書館相模原分館となり、町立相模原公共図書館との併設となる
昭和 28 年	4 月	・神奈川県図書館協会へ加入
昭和 29 年	11 月	・市制施行に伴い名称を、「相模原市立相模原公共図書館」と改称
昭和 37 年	6 月	・「図書館だより」創刊
昭和 39 年	4 月	・名称を「相模原市立図書館」と改称し、市立図書館条例、同施行規則を施行
昭和 40 年	12 月	・新設の市民会館に移転（中央 3-13-15）
昭和 41 年	4 月	・巡回文庫（団体貸出）を開始 ・レファレンス業務を開始
昭和 42 年	6 月	・古典文学講座を開催（以後毎年開催） ・文学散歩を開催（以後毎年開催） ・市史講座を開催（以後毎年開催）
昭和 43 年	7 月	・夏季の開館時間を 1 時間延長（以後毎年実施）
	11 月	・相模原市読書友の会が結成される
昭和 45 年	4 月	・利用登録手続きの簡素化（連帯保証人・印・入館票等を廃止）
	12 月	・本市図書館将来計画の調査を日本図書館協会へ委託
昭和 46 年	8 月	・図書予約を試行的に開始（47 年 5 月から本格的に実施）
昭和 47 年	5 月	・施行規則の一部を改正し、貸出方法をニューアーク式から新たなブラウン式に改善。同時に貸出冊数を 1 人 4 冊以内、期間を 14 日以内に改正
	8 月	・移動図書館「みどり 1 号」の発車式を、南文化センターで実施（愛称「みどり号」は一般公募）
昭和 48 年	3 月	・相武台団地自治会「図書館分館設置について」を市議会に請願（昭和 49 年 9 月 28 日採択） ・市立図書館設計完了
	11 月	・市立図書館建設工事着工
昭和 49 年	2 月	・キャタピラー三菱（株）（現、キャタピラージャパン（株））から、移動図書館車「みどり 2 号」を、図書 3,000 冊とともに寄付を受け、翌月から巡回開始（駐車箇所：36 箇所）
	4 月	・図書館協議会を設置（定数 6 名、任期 2 年） ・県央地区公共図書館連絡協議会が発足
	11 月	・市長部局から市史に関する事務の委任を受ける ・市立図書館竣工（鹿沼台 2-13-1）開館（19 日開館式・20 日業務開始） ・「相模原市史料目録」発行
昭和 50 年	4 月	・資料の複写サービス開始 ・おはなし会を定期的で開催（以後毎年開催）
	8 月	・郵政省へ盲人用録音物発受施設の指定申請書提出（同年 10 月許可）
	9 月	・紙芝居の貸出を開始
	10 月	・神奈川県建築コンクール（一般建築部門）において、本市図書館が最優秀賞受賞 ・相模原ライオンズクラブから、ブロンズ像「希望」の寄付を受ける
	11 月	・視力障害者（1, 2 級）を対象に録音図書の郵送貸出を開始
昭和 51 年	10 月	・「郷土資料・参考資料目録」発行
昭和 52 年	1 月	・郵政省へ身体障害者用書籍小包郵便物利用届を届出
	6 月	・神奈川県点字図書館連絡協議会に加入
昭和 53 年	3 月	・「古文書室紀要」を創刊（以後毎年発行）
	5 月	・公民館図書室運営検討プロジェクトが設置される
	6 月	・図書館協議会から「本市図書館の整備構想について」意見具申 ・「文庫だより」創刊（以後毎年発行）

昭和 53 年	11 月	・図書館業務電算処理システムプロジェクト設置
昭和 54 年	3 月	・住友不動産（株）から相武台の図書館施設を、土地とともに寄付を受け、図書館条例の一部改正により、相模原市立図書館相武台分館と決定
	4 月	・相武台分館開館
		・大沢、橋本、新磯、南文化センターの各公民館図書室開室
	5 月	・業務用自動車購入
	7 月	・麻溝公民館図書室開室
		・（株）地産と駐車場用地の交換契約成立（昭和 55 年 3 月供用開始）
昭和 55 年	2 月	・「相模原著作者目録」を発行
	4 月	・田名公民館図書室開室
昭和 56 年	3 月	・「郷土資料・参考資料目録」（2 訂版）を発行
	4 月	・小山、相原各公民館図書室開室
昭和 57 年	4 月	・電算システムを導入 （相武台分館とのオンラインシステムによる貸出・返却・登録・予約・検索等）
		・星が丘、清新各公民館図書室開室
昭和 58 年	2 月	・ブックポスト設置（本館・分館）
	3 月	・「相模原著作者目録」（2 訂版）を発行
	4 月	・中央公民館図書室開室
	9 月	・大野南公民館図書室開室
昭和 59 年	4 月	・東林公民館図書室開室
昭和 60 年	3 月	・市社会教育委員会議から「図書館の今後のあり方について」答申
	4 月	・光が丘、横山各公民館図書室開室
昭和 61 年	3 月	・「相模原市図書館整備基本計画」策定
		・図書館条例及び同施行規則の一部を改正、複写料金を改定（1 枚 40 円を 20 円に）
		・「郷土資料・相模原著作者目録」（3 訂版）を発行
	4 月	・機構改革により視聴覚ライブラリーが図書館に編入
		・大沼公民館図書室開室
	12 月	・図書館協議会から「南部方面図書館の建設計画について」意見具申
昭和 62 年	4 月	・電算システムの第 2 次更新（漢字化・発注管理ほか機能の充実を図り、南部方面図書館及び分館を含めたオンラインシステムを構築）
		・上鶴間公民館図書室開室
昭和 63 年	4 月	・大野中公民館図書室開室
	5 月	・相模台公民館図書室開室
	12 月	・「図書館資料収集に関する要綱」、「図書館資料選定基準」及び「図書館郷土資料収集基準」の制定
平成元年	3 月	・蔵書冊数が市民 1 人当たり 1 冊を超える
	4 月	・開館時間を 2 時間延長（火曜日から金曜日を 2 時間延長し、午後 7 時まで）
	6 月	・図書館条例の一部を改正し、南部方面図書館を「市立相模大野図書館」と決定
	10 月	・市立相模大野図書館の開館準備事務室を、複合文化施設「グリーンホール相模大野」に開設
平成 2 年	1 月	・相模大野図書館開館 相模大野図書館で CD・ビデオの館内視聴開始
		・業務用連絡車運行（市立図書館・相模大野図書館・相武台分館を結ぶ各図書館間を毎日）
	4 月	・県立図書館とのオンラインネットワークシステム開始
平成 3 年	3 月	・「相模原著作者目録」（4 訂版）を発行
	11 月	・橋本駅北口 C 地区市街地再開発事業として北部方面図書館を計画決定
		・上溝公民館図書室開室
	12 月	・市立図書館で CD の購入及び視聴を開始
平成 4 年	3 月	・「郷土資料目録」（4 訂版）を発行
	4 月	・電算システムの第 3 次更新（集中方式から集中分散方式に変更、利用者端末機の設置）
		・蔵書点検の時期を、各館一斉から館毎に分割して実施
	10 月	・公民館図書室とのオンラインネットワークシステムを実施
平成 5 年	8 月	・北部方面図書館の基本計画作成

平成 6 年	3 月	・ 県央地区公共図書館との広域利用を開始	
	4 月	・ 市内大学図書館等と市立図書館との相互協力を実施（麻布大学、和泉短期大学、北里大学、相模女子大学、女子美術大学、職業能力開発大学校） ・ あじさい会館内「福祉図書室」とのオンラインネットワーク開始	
	7 月	・ 大野台公民館図書室開室	
	10 月	・ 相模大野図書館において視聴覚資料の貸出しを開始 貸出点数は、図書を 6 点、うち視聴覚資料は 2 点までとする	
平成 7 年	7 月	・ 県北地区公共図書館との広域利用を開始	
	9 月	・ 古文書室を閉室、古文書資料は博物館に移管	
平成 8 年	2 月	・ 市立図書館において視聴覚資料の貸出しを開始 視聴覚資料の貸出しを 7 日以内とする	
平成 9 年	2 月	・ 第 1 回「くるくるブックフェア -本のリサイクル-」開催（市立図書館、相模大野図書館）	
	3 月	・ 「相模原著作者目録」（5 訂版）を発行	
	5 月	・ 町田市・相模原市の市長懇談会で両市が広域利用を実施する合意がなされる	
	6 月	・ 電算システムの第 4 次更新（ソフトウェアの改修、バージョンアップ等）	
	7 月	・ 貸出手続確認装置（BDS）の設置	
	平成 10 年	1 月	・ 図書館協議会から「北部方面図書館の建設計画について」意見具申
3 月		・ 移動図書館「みどり号」廃止	
4 月		・ 祝日開館開始	
7 月		・ 陽光台公民館図書室開室 ・ 市民リサイクルコーナー開設	
12 月		・ 町田市立図書館との相互利用を開始	
平成 11 年	10 月	・ 図書館開館 50 周年記念事業開催	
平成 12 年	12 月	・ 図書館条例の一部を改正し、地方自治法改正に伴う権利義務に係る規定の整理を行う	
	3 月	・ 図書館条例施行規則の一部を改正し、条例改正に伴う権利義務に係る規定の整理を行う	
	4 月	・ 男女共同参画推進センター情報コーナーとのオンラインネットワーク開始	
	7 月	・ 北部方面図書館建設工事契約の締結・着工	
平成 13 年	3 月	・ 図書館条例の一部を改正し、北部方面図書館を「市立橋本図書館」と決定	
	4 月	・ 図書館利用相談員の設置、休日の翌日開館開始 ・ 総合学習センターとのオンラインネットワーク開始	
	6 月	・ CD-ROM 利用サービスの開始	
	9 月	・ 電算システムの第 5 次更新（ソフトウェアの改修、バージョンアップ等） ・ 橋本図書館開館 橋本図書館開館に合わせ、開館時間を変更（火曜日から金曜日は午前 9 時 30 分から午後 8 時まで、土曜日・日曜日・休日は、午前 9 時 30 分から午後 6 時まで） ・ 図書館のホームページを開設（利用案内、蔵書検索、新着案内等） ・ インターネット閲覧サービスを開始	
	平成 14 年	3 月	・ 南文化センター閉館
		4 月	・ 八王子市図書館との相互利用を開始 ・ 東京工科大学、多摩美術大学との相互利用を開始
7 月		・ 相武台分館の開館時間を試行的に夏休み期間、午後 6 時まで延長（平成 27 年まで）	
11 月		・ 相模大野図書館アドバイザー制度発足（平成 17 年 7 月まで）	
平成 15 年	4 月	・ 桜美林大学図書館との相互利用を開始 ・ 市立図書館が「子どもの読書活動優秀実践図書館」の文部科学大臣表彰を受賞	
	8 月	・ 大野北地区図書等宅配サービスを開始	
平成 16 年	4 月	・ 公民館図書室の開室時間を午前 10 時から午後 5 時までに変更し、正午から午後 1 時も開室	
	5 月	・ 橋本図書館ビジネス支援サービス開始	
平成 17 年	12 月	・ 大野南公民館図書室閉室	
	4 月	・ 「子ども読書活動推進計画」を策定し、第 1 回子ども読書の日記念事業開催 ・ 神奈川県図書館情報ネットワークシステム（KL-NET）稼動により、県内公立図書館等との資料相互貸借が充実	
	12 月	・ 青山学院大学図書館との相互利用を開始	

平成 17 年	12 月	・ YA 大賞発表 (橋本図書館)
平成 18 年	3 月	・ 津久井町、相模湖町と合併
	4 月	・ 相模大野図書館が「子どもの読書活動優秀実践図書館」の文部科学大臣表彰を受賞
平成 19 年	3 月	・ 藤野町、城山町と合併 津久井 4 町との合併により、県から津久井地域への相互貸借本の配送及び県北地区公共図書館との広域利用が終了。新たに、藤野町から引き継いだ上野原市立図書館との相互利用を開始
	4 月	・ 県内図書館からの相互貸借本の津久井地域への配送を市配送システムにより開始 ・ 市立図書館に子ども資料室を開設 ・ 子ども資料団体貸出開始
	5 月	・ 電算システムの第 6 次更新に伴い、5 月 24 日～6 月 4 日休館 (ソフトウェアの改修、バージョンアップ等、蔵書点検) 館内の利用者用検索機からの貸出状況の確認・予約機能等を追加 図書館テレホンサービス開始
	6 月	・ 相模大野図書館に YA コーナーを開設
	9 月	・ インターネット予約サービス開始
	10 月	・ 津久井地域 6 図書室に電算システムの導入、配送システムの拡充 { 城山公民館、津久井中央公民館、串川ひがし地域センター、青野原図書室 (青野原小・中学校内)、桂北公民館、藤野中央公民館 } ・ 相模大野図書館窓口等業務委託の開始 ・ 相模大野図書館こどもの本のフロアの閉館時間を午後 6 時まで延長 ・ 図書館協議会に「これからの相模原市図書館の在り方について」を諮問
	12 月	・ 市民会議室「明日の図書館を考える」を設置
平成 20 年	3 月	・ 帝京大学薬学部図書館との相互利用を開始
	4 月	・ 津久井地域 6 図書室の蔵書公開
	10 月	・ 図書館・図書室資料の長期未返却者に対して新規の貸出を停止する制度を導入
	11 月	・ 市民会議室「明日の図書館を考える」から「私たちが望む市図書館」を提言
	12 月	・ 図書館協議会から「これからの相模原市図書館の在り方」について答申
平成 21 年	3 月	・ 「相模原著作者目録」(6 訂版)を発行
	4 月	・ 貸出券の有効期限を 4 年間とする貸出券更新制度を導入
	6 月	・ 対面朗読開始 (市立図書館)
	10 月	・ 橋本図書館窓口等業務委託の開始
	12 月	・ DVD の貸出開始
平成 22 年	1 月	・ 相模大野図書館開館 20 周年及び記念事業開催
	3 月	・ 相模原市図書館基本計画を策定
	7 月	・ 相模大野図書館「くるくるブックコーナー」開設
	10 月	・ 市立図書館「くるくるブックフェア本のリサイクル」最終回開催
平成 23 年	1 月	・ 市立図書館「くるくるブックコーナー」開設 (毎月第 2 金曜日)
	3 月	・ 第二次相模原市子ども読書活動推進計画を策定 ・ 東日本大震災により市立図書館地下書架倒壊 (電動書架設置)
	4 月	・ 東日本大震災による被災箇所修繕のため、4 月 12 日～5 月 19 日市立図書館休館
平成 24 年	1 月	・ 学校支援図書セットの整備及び配送システムの導入
	3 月	・ 帝京大学薬学部図書館との相互利用を終了 ・ 藤野中央公民館図書室でインターネット閲覧サービスを開始
	4 月	・ 図書館協議会委員の定数を 6 人から 10 人以内に改正
	10 月	・ 市立図書館窓口等業務委託の開始
平成 25 年	3 月	・ 職業能力開発総合大学校図書館との相互利用を終了
	4 月	・ 市立図書館雑誌スポンサー制度を導入
	5 月	・ 電算システムの第 7 次更新に伴い、5 月 20 日～29 日休館 (機器更新・蔵書点検) ・ 図書資料等の貸出点数・貸出期間の変更 図書資料の貸出点数は、6 点以内から 10 点以内とする 視聴覚資料の貸出点数は、2 点以内から 3 点以内とし、貸出期間を 7 日以内から 14 日以内とする

平成 25 年	10 月	・市立図書館で、市内の特別支援学級等を対象に布絵本の貸出サービスを開始
平成 26 年	4 月	・相模大野図書館・橋本図書館で雑誌スポンサー制度を導入
	11 月	・市立図書館開館 40 周年記念事業開催
平成 27 年	1 月	・相模大野図書館開館 25 周年記念事業開催 ・図書館 3 館共同で「くるくるブック事業（児童）」(平成 28 年度から名称を「児童書リサイクル事業」に変更)を開始（年 1 回）
	2 月	・「相模原著作者目録」（7 訂版）を発行
	10 月	・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの運用開始 ・Facebook と Twitter による情報発信を開始
平成 28 年	3 月	・貸出券のデザイン変更
	4 月	・桂北公民館から相模湖公民館へ名称変更
	6 月	・第二次相模原市子ども読書活動推進計画改訂版を発行
	9 月	・橋本図書館開館 15 周年記念事業開催
平成 29 年	1 月	・市立図書館に YA コーナーを開設
	3 月	・保健と福祉のライブラリー廃止
	4 月	・視覚障害者情報センター設置
平成 30 年	6 月	・相模原市図書館事業評価書（評価期間：平成 26 年度～平成 28 年度）を公表
	7 月	・照明設備修繕のため、7 月 2 日～7 月 12 日相模大野図書館休館
	11 月	・図書館協議会に次期相模原市図書館基本計画について諮問
平成 31 年	4 月	・相武台分館開館 40 周年記念事業開催（4 月～9 月）
令和元年	5 月	・電算システムの第 8 次更新に伴い、5 月 16 日～5 月 31 日休館 ・図書館テレフォンサービス終了
	6 月	・図書館システムを更新(スマートフォン対応、図書の検索及びマイ・ライブラリー等のホームページの機能の充実、自動貸出機の導入など)
	10 月	・令和元年東日本台風の影響により、10 月 12 日～10 月 13 日(午前中)休館
令和 2 年	3 月	・第 2 次相模原市図書館基本計画を策定 ・第 3 次相模原市子ども読書活動推進計画を策定 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3 月 2 日～6 月 8 日休館
	10 月	・相模大野図書館開館 30 周年記念事業開催（10 月～11 月）
令和 3 年	2 月	・図書館ホームページ内に「相模原市立図書館デジタルライブラリー～おうちでとしょかん～」を開始
	4 月	・有料郵送サービスとして、郵送貸出と郵送登録を開始 ・相模原市立図書館 YouTube チャンネルを開設
	7 月	・橋本図書館開館 20 周年記念事業開催（7 月～10 月）
	8 月	・神奈川県への緊急事態宣言の発出に伴い図書館サービスの提供を一部休止（8 月 6 日～9 月 30 日） ・国立国会図書館総合目録ネットワーク事業（ゆにかねっと）への所蔵データ提供を開始
	9 月	・相模原市図書館事業評価（評価期間：平成 29 年度～令和元年度）を公表
	10 月	・橋本図書館ロゴマーク制定
	11 月	・一部休止していた図書館サービスを再開 ・「きたよ・かえるよメール」サービスを開始 ・メールレファレンスサービスを開始
令和 4 年	4 月	・市立図書館に子育て支援コーナーを開設
	8 月	・市立図書館・相模大野図書館・橋本図書館で公衆無線 LAN サービスを開始
	9 月	・電子書籍サービスを開始 ・「くるくる としょかん」（子ども読書資料循環制度）を開始 ・相模原市図書館事業評価（令和 2 年度）を公表